

戸塚第二地区社会福祉協議会
会長 西村邦夫

3年目に入った「“新”ふれあいサロン」

当地区社会福祉協議会主催の『ふれあいサロン』は、3年前、当時ボランティアさんの高齢化で暫く休止状態になっていました。26年4月に西村会長の新体制になってから、何としても再開したいとの会長の意向と、皆様の再開への努力が実って9人の厨房ボランティアさんの応募があり、その年の11月に再開することができました。この11月には3年目を迎え第21回となりました。

毎月の参加者は20人前後で、厨房、歌の指導、役員のボランティアを含めて30余人の集まりとして推移しています。

11時の開館ではありますが、10時半前には一番乗りの参加者が「待ちどーしかったよ」と言って入ってこられる。我々としては嬉しい瞬間です。

11月は、特別番組で町内会の鈴木康夫さんに『四国八十八か所遍路』のお話をして頂きました。八十八か所を開いた弘法大師空海のお話から始まって、実際に回られた遍路のお話には感動しました。

ところで最近、厨房のスタッフに変動があり、2人が辞めることになりました。長い間のお働きに感謝いたします。幸いなことに2人の新人が入られました。発足以来9人中4人が交代したことになります。一番大事な厨房スタッフのボランティアさんが、皆さん明るく活動してくださっている事に感謝している所です。

誰でもそれぞれ事情があるので、そこの所をお互いに理解し合って、この意義ある事業が継続されることを願っているところです。
(鈴木祐司)

災害時要援護者の支援事業の概要

去る11月21日に、戸塚区役所の高齢・障害支援課主催で災害時要援護者支援事業の説明会が開催されました。私達の横浜周辺一帯は、直下型等の大規模な地震が想定されていますが、万一大災害が発生した際に、安全を確保するためには自助・共助が最も重要と言われております。

ところが地域には、発災時にひとりでは安全を守りきれない障害者や高齢者等の災害時要援護者も多くおられます。本事業は、これらの要援護者を守り、支援する体制を作ろうと言うのが趣旨です。

この支援体制を作るには、地域の皆さんの協力がなくては不可能です。その上で、

1. 行政との協定や地域自身で調査することで、災害時要援護者を正確に把握する。
2. 得られた情報を個人情報保護の面から管理する体制を確立する。
3. 支援者を募集し、担当を決め支援体制を確立する。
4. 発災時の救助支援方法を決め、訓練を行う。
5. 平時においては、円滑に機能させるために、顔の見える関係づくりに努める。

等の活動が必須になります。この際、重要なことは、支援者の活動は義務ではないということです。

災害時はまず個人の安全が第1ですから、安全を確保した上で、できる範囲で手助けするのであって、決して義務ではありません。それ故、要援護者一人に対して複数の支援者が必要になります。

社会福祉協議会としては、これから地域の皆さんの協力を得ながら、どのように具体化していくかを考えていかなければなりません。ぜひ皆様のご意見を反映させていきたいと思っておりますので、色々なご意見やご感想、具体的なアイデア等をお寄せいただくようお願い申し上げます。

とつ2 ウォーキングの会では補助金を確保できました！

戸塚第2地区社会福祉協議会では、ハートプランの5か年計画の一環として、とつ2ウォーキングの活動を開始しました。この活動を軌道に乗せるために、補助金を申請していましたが、行政に認知され、補助金を確保することができました。

本活動は、地域の人達が集まり、散策することで、地域の人達の健康年齢を伸ばし、認知症予防に繋げ、かつ、絆の強化につなげて行くのが目的で、そのために多くの方の参加を期待しております。

今回確保した補助金を活用して、参加して良かったと思っただけの楽しい活動にするよう運営に工夫を凝らし、また地域の多くの人達に知ってもらえるように積極的にPRして行きたいと考えております。

2月は観梅の鎌倉散歩を計画中です。乞うご期待！



＜防災技術を学びましょう (2) 地震！『まず身の安全』＞

「地震が来たら火の始末」と、これまで言われてきたので、そのつもりでいたら、横浜市民防災センターの体験に参加したとき「地震が来たら 火よりもまず身の安全」と言われて、おやっと思った。

火が先でなくても良いのか？ この疑問を解くために、もう一度防災センターを尋ねたので、分かった事をお話いたします。

例えば、お鍋にお湯を沸かしている最中に、とつぜん激しい揺れの地震！

この時コンロのすぐそばにいて、しかも揺れ始めの微振動の時、すぐ火を消せばそれに越したことはない。

しかし、ちょっと離れている場合は、震度6～7となると、もう火元に近づくことは危険だ。震度6の体験では、手すりに両手でしっかりとつかまっていないと、とても立ってはいられない。実際にはいろいろな物が飛び、落下して割れ、戸棚が倒れたりする。だから、すぐ**テーブルの下などにもぐる**か、安全な所で**頭を何かで保護する体勢**をとる事が先行だ。

揺れが収まってから、足元に気をつけて火元の確認に行く。そうしないと鍋の湯がこぼれたり、鍋ごとコンロから落ちたりして大火傷をする例が多いという。

近年は、電気、ガス、石油ストーブ等に自動感震スイッチが付いたものが多くあり、これらを備えている場合は自動的に火が消えるようになっている。(鈴木祐司)

今後の活動予定 (2月～)

NO	活動内容	日程	場所	備考
1	ふれあいサロン	2月14日(火) 3月14日(火)	矢沢町内会館	毎月、第2火曜日、11時～14時(70歳以上の方) 参加費 200円(食事代込)
2	にこにこキッズ	2月7日(火)	矢沢町内会館	月1回、第1火曜日、10:00～11:30
3	ふれあい太極拳	毎日曜日	矢沢公園	1、8月及び第5日曜日は休み 雨天中止、9:00～、参加費1か月300円
4	骨・骨クラブ	2月9、23日(木)	矢沢町内会館	毎月第2、4木曜日、10時～12時 参加費500円/月、タオル、飲み物持参
5	とつ2 ウォーキング	2月15日(水)	鎌倉方面	戸塚駅西口バスセンター上広場 AM8:30集合

お問い合わせ 事務局：実方 TEL 871-5990